



# みんなめざそう「乳がん対策日本一」の広島県

がん対策で何をすれば良いか？  
(県民、健診・医療関係、行政ともに)

目標  
(平成24年度)

10年後「日本一」の実現  
乳がんによる死亡率が  
全国で一番低い広島県

がんを早く見つける

## 1 早期に発見するための取組

### 検診受診率の向上

- 効果的なマスメディアによるキャンペーン
- インターネットを活用した検診情報の発信
- 企業・市町と連携したモデル的な受診率向上対策

### がん検診の質の向上・均てん化

- 読影認定医師、撮影認定技師等の養成
- 検診・精検用地域連携パスの活用
- 検診結果・精密検査結果報告様式の標準化
- 検診データの収集・評価システムの構築

#### 広島県の現状

■ 検診受診率 19.8%  
(H19年国民生活基礎調査)

- ・ 市町の検診 (H18年度) 11.7%
- ・ 企業等の検診 (H19年度)

被保険者 39.1%  
被扶養者 15.9%

■ 検診精度 (H18年度 市町の検診)

- ・ 要精検率 9.3%
- ・ 精検受診率 86.6%
- ・ がん発見率 0.3%
- ・ 陽性反応適中度 3.8%

### がん検診受診率を50%以上に

【現在の最上位指標】

- がん検診受診率
- 全国1位 32.9% 宮城県  
(H19年国民生活基礎調査)
- 33.3% 山形県  
(H18年度 市町の検診)

- がん検診における
- 要精検率を8.9%以下
- がん発見率を0.28%以上
- 陽性反応適中度を3.9%以上

【現在の最上位指標】

- 市町検診の全国平均値
- 要精検率 8.9%
- がん発見率 0.28%
- 陽性反応適中度 3.9%
- (H18年度)

実現①  
がん検診を受けて  
早期に発見！

- 今後5年間でがん検診受診率50%を目標に、10年後の死亡者数を減少！

実現②  
見つけたがんを  
しっかり治療！

- 医療の均てん化（県内で質の高い治療ができる体制）を推進して、10年後の死亡者数を減少！

①と②により

## 2 質の高いがん治療体制の整備

### 役割分担・機能連携

- 術後治療地域連携パスの活用
- 診療情報の収集・検証
- 各医療機能群毎の講習会・カンファレンス

### 人材の育成

- 乳腺専門医育成研修
- 乳がん治療を医師のスキルアップ研修

### 情報の発信

- 「広島乳がん医療ネットワーク」参加医療機関の診療機能、診療実績の公表
- 広島県のがん情報サポートサイト「広島がんネット」の活用

#### 広島県の現状

■ 罹患者数 1,267人  
(H16年広島県地域がん登録)

■ 年齢調整罹患者率 64.7  
(人口10万対)  
(H16年広島県地域がん登録)

#### 広島県の現状

■ 75歳未満年齢調整死亡率 9.0  
(全国12位)  
(H19年・人口10万対)

■ 75歳未満死亡者数 160人  
(H19年)  
資料：国立がんセンター

### 乳がん5年相対生存率を87.3%（全症例）以上に

【現在の最上位指標】

- 全がん協加盟32施設の5年相対生存率
- 全症例 87.3%
- (1997-2000年、初回入院治療症例)

※ 10年後の75歳未満死亡者の減少数は、

- 死亡者数 平成19年度 160人  
平成29年度 158人（推計）
- 平成19年度  
75歳未満年齢調整死亡率 9.0（広島県）

- 平成29年度の年齢調整死亡率が全国1位の年齢調整死亡率7.8（香川県）とした場合の死亡者数の減少数を試算
- ・ 9.0⇒7.8（14%減少）
- ・ 10年後の死亡者数の減少数（推計）  
158人×0.14=22人

- 75歳未満年齢調整死亡率を **7.8（人口10万対）** まで減少！  
H19年全国1位 7.8（香川県）

死亡者数を 実現①と②の合計で **22人※** 減少！

ついでに治療